

大会注意事項

※ 新型コロナウイルス感染症防止のため「**JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン第4版**」に則り、下記の対策を徹底し、皆様の「安心・安全」を第一に事業を進めてまいりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

- 大会本部、大会役員、審判員、各チームへ**感染対策責任者**を設置。連絡体制を確立。
- 全参加者は大会2週間前より健康チェックシートにより徹底した体調管理を行う。
健康チェックシートに当てはまる症状がある（あった）場合は参加を見送ること。
- 感染対策責任者は選手、スタッフ、大会役員、審判員の健康状態をチェックし「健康チェックシート」により大会本部へ報告を行う。
- ソーシャル・ディスタンスを確保。密を避ける。
- 運動中以外はマスクを着用。コーチ、スタッフは常にマスクを着用。（ただし、熱中症には十分注意する）
- 手洗い、手指の消毒を行う。（大会本部でも準備しますが、各チームにおいても準備を怠らないこと）
- ベンチの消毒は各チームがベンチに入る時と出る時の2回行う。
- 試合中、選手がコート出入りの際も、必ず手指の消毒を行う。
- ごみの持ち帰りを徹底する。（体育館の自販機で購入したドリンクのペットボトルや缶についても持ち帰る）
- 更衣室では密にならないよう人数を減らして使用する。
- 密を防ぐため余裕を持った大会日程とし、前試合のハーフタイムでのアップは禁止、試合間を30分とする。
- 大会後、感染を疑われる症状を確認した場合は早期に感染対策責任者から大会本部へ連絡を行うこと。

1. 競技規則および方法

- 1) 試合時間は、10分-2分-10分-10分-10分-2分-10分とする。
- 2) 試合開始時刻は原則定刻とし、進行が遅れた場合、前試合との間隔は30分間とする。

2. ユニフォーム

- 1) ユニフォームは、(公財)日本バスケットボール協会(JBA)のHPに掲載してある「JBAユニフォーム規則(2020年11月1日一部改定)」及び「現行(公財)日本バスケットボール協会競技規則」を参照のこと。
- 2) 組み合わせの左側のチームは淡色(白色が望ましい)、右側のチームが濃色のユニフォームを着用する。ただし、トラブル防止のため、ユニフォームは濃淡両方準備すること。
- 3) 今大会に限り、柔らかい素材であれば、試合中のマスク着用を認める。(色は問わない)

3. ベンチエントリー

- 1) ベンチ入りしたコーチは、JBA公認コーチ証を必ず首から下げる。また、選手ではないスタッフは、連盟の定めるスタッフ証を必ず首から下げる。
- 2) ヘッドコーチまたはその代理者は、試合開始30分前までにチームメンバーの氏名と番号、キャプテン、ヘッドコーチ、ファーストアシスタントコーチの氏名をスコアシートに記入をすること。

- 3) 期限までに提出された埼玉県予選参加申込書に登録された選手及びベンチスタッフだけが出場できる。(エントリー変更は認めない)
4. T0 は組み合わせ表に記載されている通り。
5. 不正登録 (出場資格がない選手・未登録選手・二重登録)
 - 1) 試合開始前に確認した場合、該当選手を失格させ試合を行う。
 - 2) 試合中および試合終了後に発覚した場合、理由の如何を問わず没収試合とする。
 - 3) この規定に違反した場合、県協会理事会・社会人連盟にて協議し、処罰することがある。
6. 棄権 (オフィシャルの担当チームにも適用)
 - 1) 試合開始時刻に遅刻すれば理由の如何を問わず没収試合とする (開始予定時刻から 15 分で判断) この確認は大会責任者 (埼玉県社会人バスケットボール連盟カテゴリー担当) が行う。
 - 2) 止むを得ず棄権をする場合は、実施要項問い合わせ先に連絡し **罰則金 12,000 円を支払う。**
 - 3) 試合の 2 日前から当日までに棄権した場合には、罰則金 12,000 円を支払い、さらに処罰が適用される。
 - 4) 棄権をする場合でも、当該チームに割り当てられているオフィシャルは必ず担当すること。棄権でゲームが無くなった相手チームも割り当てられているオフィシャルを担当すること。
7. コートの準備および後片づけ
 - 1) コートの準備は、第一試合の両チームが 8 時 45 分に集合し、互いに協力して行う。
 - 2) 準備範囲は自チーム側ベンチ・リングの設置とする。オフィシャル席・得点板は両チームで行う。
 - 3) 最終試合後は最終試合の両チームで協力してベンチ・リング・シート・コード等の片づけとコートの清掃を行う。
 - 4) 当該最終試合担当のオフィシャルは、オフィシャル用具・椅子・机・得点板等を片づける。
 - 5) 準備・後片づけを怠った場合、コート責任者がこれを確認し、罰則を適用する。
8. 会場内での整理整頓・マナー
 - 1) フロアでの、ペットボトルの使用を禁止する。スクイズボトル等を使用すること。
 - 2) 持ち物の管理、ゴミの始末、会場の清掃は、各チームで責任を持って行うこと。
 - 3) 喫煙は決められた場所等、施設のルールにしたがうこと。
 - 4) 競技フロアでは更衣は行わないこと。また、館内ではシューズを履くこと。
 - 5) 原則フロアには、前試合のチームが退出してから入場すること。
 - 6) 指輪、ネックレス、ピアス、ピン止め等の金属類は、ゲームの時は必ず外す。外せないときは、必ずテーピング等をする。
 - 7) 指の爪を切る。
9. 事故
会場備品、ガラス、ドア、ネット等の破損、ストップウォッチ等の故障などが起きたら速やかに大会本部へ連絡すること。
10. 大会に於ける練習及び試合中に発生した不慮の怪我・事故等については、個人の責任とし、各自スポーツ傷害保険等には必ず加入し、健康保険証を持参のこと。

11. 「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム～暴力暴言根絶」について
スポーツマンシップの精神から大きく逸脱したプレイ等の行動による競技中の怪我については、当協会の「規律規程」および「裁定規程」に則り対応する。
12. 荒天候、災害などにより中止する場合、前日の 17 時に判断して参加申込責任者にメールにて通知する。責任者のメールアドレスはいつでも連絡が受け取れるようにすること。